

第4回宝塚市議会意見交換会記録 第3部

※ この記録は、市民発言者と議員の意見交換の様子について、書記として参加した議員が記録したものを元に作成しています。

テーマ「行財政改革について（NTN(株)宝塚製作所跡地、宝塚ガーデンフィールズ跡地、公園用地など）」

①東南海トラフの大震災が予想される今日、最優先すべき通信のあり方

市民 議会報かけはし（第228号、代表質問の答弁）で、市が防災無線を導入するという記事が載っていたので、意見を述べたい。

私は阪神大震災で一瞬にして埋もれてしまった。何とか自力で這い出すことができたが、妻は奥の部屋にいて完全に閉じ込められた。救出のために119番に連絡したいが、家庭電話はもちろん携帯電話もダメで、自転車で交番へ駆けつけ、救出を依頼するが、警察無線も消防無線もダメとのこと。約2時間後、おまわりさんがやってきて「公衆電話が活着ているから、そこから119番されたい」とのこと。公衆電話に急いだところ、「長蛇の列」でみんな目をギラギラさせて順番を待っているが、一向に進まないため、情けないが諦めて現場に帰るしかなかった。

災害時、最も緊急を要する通信は「個人の命を守る」110番・119番です。5年前の東日本大震災においても、基地局の停電や通信の輻輳で、80～90%の通信が不能になっていた。総務省は社会インフラを整備するため、2020年をめどに次世代の超高速通信「5G」を実用化しようとしている。通信速度は現在の100倍となり、通信量も膨大となって、IoT（あらゆるものがインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービス）の活用で自動運転、高精細医療、漁業・農業の改善などを図ろうとしているが、この計画では、大災害時の緊急通信を確保するシステムが抜け落ちている。自治体には住民の安全を確保する義務があるので、大災害時直後の緊急通信を確保するシステムの確立、または110番・119番以外の通信の制限を要請されたい。110番・119番はいかなる時にも発信できるように市から国に要請してほしい。

災害時にはICT（情報通信技術）の活用とともに、衛星通信を大容量に見直すこと、防災無線のデジタル化、移動電源車を配置する、災害用伝言ダイヤル（171）が利用できるようにする、などの対策が急務だ。

議員 貴重なご意見ありがとうございました。私も大震災の時に、会社へ「安否状況

報告」をするために公衆電話の行列に並んだ経験がある。並んでいる人は安否確認が目的の人が多かった。災害時の公衆電話は非常に大切だと思うが、携帯電話の普及で20年前には93万台あった公衆電話が、現在約2割の18万台まで減っている。

総務省は2016年度から3万9千台～8万5千台の特設公衆電話を設置し、安否確認のために大規模避難所等で使用していくとのこと。また、インターネットがどこでも活用できるようにWi-Fiの整備も要望していきたい。何より、不安を解消する取り組みが大事。しかし、119番がつながっても救急車等の台数が少ないため対応ができるのか心配。とにかく公助、共助、自助をしっかりとやっていくこと。中でも共助が大切だと思う。

議員 防災は行政の大切な役割。現在、宝塚市では国からの補助を受けて防災行政無線の取り付けを考えている。また、市民の携帯による「安心メール」の登録もしてもらっている。災害が起こった時に、その後の市民の「いのち」を守ることが大切。公助以外にも地域による共助、自助も大切。

第5次総合計画後期計画の中に、「地域担当制」を導入していくとある。現在はまだ数名だが、今後は担当職員と市民が協力して、住民のいのちを守っていく必要があると思う。

市民 内閣府の中央防災無線網は総合防災システムを支えて、消防庁から市町村等へ通信していく。大災害では一つの自治体でなく近隣自治体が連携していくべきだ。命を見殺しにしないようにしてほしい。110番、119番の回線の確保を。また、駅やコンビニに無線LANを付けるとか、消防、警察、銀行、農協などの横の連携が大切だ。

議員 緊急時には110番と119番にかかるのが望ましい。また、行政の対応も必要。国へ要望できるかも含めて今後勉強していきたい。

市民 緊急時に対応できるシステムをNTTが持っているのに公表していない。公表してほしい。

議員 宝塚市が新しく市の用地に総合防災機能を備えた「危機管理センター」を設置して本格的に防災システムを検討している。

市民 緊急時に110番と119番が使用できるようにするには、他の通信の使用を制限する法律を作らないといけないので市から国へ要望してほしい。

②購入された土地に対する市民の思いが聞き入れられていないことについて

市民 ガーデンフィールズ跡地について、阪急が現地を閉鎖するという話が出たころ、名残惜しくて何度も訪れた。アンケート調査をしており「どんな形で残したいか」など市民として答えた。答えておけば、そういう形になると思っていた。

しかし阪急から土地を買い受けた市は、阪急側から「温室を保存するか」と聞かれ「しない」と答えた。温室は郷愁の目玉であったのに、市民の声は聞き入れられず、ただの更地にしてしまった。温室は残らなかった。郷愁の目玉がなくなった。

エンターテインメントのプロの阪急がやってダメだったことを、行政がやって成功させられるのか。

市民が、いかに観光施設を利用しているのか。市民で毎年、歌劇に行く人、行ったことのある人がどれくらいいるのか聞いてみたい。

市民が行かない施設に市外の人に来るわけない。

今回の構想はきれいごとすぎる。市民が集う場所を作る。

手塚治虫記念館の前庭のようにするのかと思えば、美術館をつくるという、なぜお金使うのか。波及効果はあるのか。

NTN跡地でも、集う場所と書いている。

本当に集う場所になるのか。

議員 ガーデンフィールズ跡地とNTN(榊塚製作所跡地)については、議会として予算委員会で附帯決議もつけた。慎重に進めるようにと。

ガーデンフィールズと歌劇のゾーンは芸術。クリーンセンター跡地とスポーツセンターでスポーツ。NTN跡地を行政。と分けたまちづくりをと言ってきた。

この度、会派説明がされているが、提案に対して個人的にはこれで観光客が来るのかと疑問を感じている。

観光プロムナードの中心にガーデンフィールズと聞いていたが、変更を聞いた。

文化創造館とをつなぐ通路をやめた。保育スペースもやめたと変更点の説明を受けた。観光バス3台分は確保したがそれだけでいいのか。35億円もかけた公園であり、市民が本当に喜ぶのかと私も思っている。他市でもこれ以上の費用をかけたハコモノに閑古鳥が鳴いている事例を見てきた。まだ、今からでも中身の検討はできる。個人的にはイオンなどを誘致し、働く場所をつくるのが望ましいと思っている。

市民 宝塚は産業がないので企業誘致はOKなのだが、今から大丈夫か。市税のみで成り立っていて、これからどうやっていくのか不安だ。西谷にインターができ大型バスで観光客が来ても、南部市街地でどこに止めるのか。第2部の意見交換でもあったが、観光に資する方法を考えるべき。ここに3台だけでいいのか、大型バスをもっと止められるように考えるべき。

NTN跡地や河川敷などそういうことも考えないと、第二の夕張になる。

ガーデンフィールズもNTNも決まったわけじゃないので、土地利用をもう一度考え直し、市民の方々が行きたくなるような形にしてもらいたい。

議員 ガーデンフィールズ・NTN何するのと聞いたら、公園と聞いて、えっと思った。ガーデンフィールズは35億もかけて価値があるのかと。どこにでもあるようなものを作って大丈夫か。関西のいろいろな施設を見てきたが、今は閑古鳥が鳴いているような施設もある。誰も集っていない。

今のままではダメと思っている。文化創造館とつなぐと聞いていたが、つながないのだから、文化創造館の中身を今度考えている施設に移転して、今の文化創造館の場所は駐車場にしたほうがいい。イオン等の大型施設を誘致して雇用を増やしたほうがよかった。

有名店を誘致すべき。今の形と違うものを市民の意見を聞いて作っていききたい。

議員 なかなか難しい話。

行政とすれば、民間がマンション開発するところを止めた。NTNについても水道局の老朽化の問題、市役所の駐車場が狭い問題もあった。NTNもマンションが建つより良かったのではと考える。しかし、その方が固定資産税や市民税が入ってよかったかもしれないという声さえもある。

今回失敗すると大変なので、行政はよりよいものをつくろうと一生懸命やっている。ガーデンフィールズ跡地の子どもスペースはしっかりやるべき。視察で八戸の「はっち」という施設を見てきたが赤字を出しても、未来の投資としてやっている。宝塚も投資であればいい。リピーターが多く訪れるような施設となるように、今後を見守りたい。

議員 今の県知事が手塚記念館来て、「入ったらすぐ出口やなあ」といっていて、もう少し広げるのも大事ではと県も補助をくれた。

手塚治虫記念館からの発信が大事。一体的に利用を考えていたのができなかった。

③国内外から I T 企業や製造業を誘致し 税収を上げる

市民 宝塚市のホームページの年代別人口を拝見し 少子高齢化が進んでいると実感した。今後 10 年の対応が緊急課題と考え、まず若い世代の人口をふやし 経済を活性化しつつ 税収を上げていくことを提案する。このままでは、今後 5 年、10 年で 1 人で 2 倍以上稼がないといけない。

具体策として、

- a 国内とインド、フィリピンなど I T の先進技術者や企業を誘致し、国策である「セキュリティセンター」や日銀の「フィンテック」構想など、I T 事業を取り込んだ拠点を建設して「I T のまち宝塚」を創造。
- b 市内外で実績がある優良企業（新明和工業などの製造業が望ましい）を中心に、跡地を無料提供し、法人税収で回収する。
- c 「市立国際交流センター」を跡地に移転し、若い世代間の国際交流を通して米、英、仏、豪、フィリピン、インドなどから、宝塚と日本の文化伝統に憧れる人材を発掘、移民や地元民と結婚できるような大々的な場にして、少子化を解消する。
- d 宝塚市の文化遺産である「手塚治虫記念館」を「国際交流センター」に拡充併設、「タカラヅカ」の魅力ある文化遺産とともに世界に発信する建物にして、若い世代の移住者を呼び込んでいく。

以上 4 つの案を提案する。

議員 具体策として a、b、c、d の案が示され、NTN(株)宝塚製作所跡地とガーデンフィールズ跡地利活用にということだが、土地取得の段階から国補助金もあり、すでに事業が進んでいる。期限が決められているため、その期限内でしっかり検討したい。

本市の税収は、市民税が 350 億円。個人市民税が 163 億円、固定資産税が 134 億円、法人税は 13 億円。たばこ税が 10 億円であり、法人税とほとんど変わらない。

確かに法人税が上がると税収アップになるが、難しい。市としては、企業活動促進奨励金、雇用促進奨励金、事業所等賃料補助金などの制度があり努力している。

企業誘致だが、本社機能がないと税収につながらない。歌劇団も本社は池田市となっており税収にはなっていない。

経済産業省が他都市の事例を紹介している。成功している例のキーワードはトップセールス。企業誘致担当職員も配置している。宝塚には担当職員はおらず、市長も熱心ではない。重点政策にもなっていない。若い世代に来てもらえる政策を考えていかないといけない。他市のように、宝塚市も具体的にしていかなければならな

い。

市民 土地の無償提供などで、法人を呼べないか。

議員 無償提供しても、土地の買収や改修工事でお金がかかる。また、宝塚歌劇でだいぶ儲かっているのではと言われるが、歌劇団の本社は宝塚市ではなく池田市。そのため法人税は池田市にかかる。企業誘致については首長に頑張ってもらいたい。

市民 若い世代の子育て施策の拡充など、呼び込める施策を。

議員 近隣自治体の状況も見ながら、調整していく。

議員 少子高齢化について、原因となっている若い世代の雇用の劣化にメスを入れる必要がある。給料を上げること、子育て世帯への援助を充実させることが必要。

どこも選ばれる都市を目指す中で、取り合いではなく、全体の底上げが必要ではないかと思う。

市民 いろいろと考えてもらっていると実感した。

議員 議会基本条例をつくり意見交換を進めている。

宝塚ガーデンフィールズ跡地の件では議会からも国交省に陳情にも行った。どのように整備していくのか詳細は今後詰めていく必要がある。

企業誘致について、過去に高司地域で工場を誘致していた。

観光について、手塚治虫記念館には台湾などから多くの観光客が来ている。外国語の観光情報や発信のためのアプリ、Wi-Fiの整備などが必要。新名神高速道路の工事が遅れているが、SAについてもしっかり考えていきたい。